

11. 環境への関心

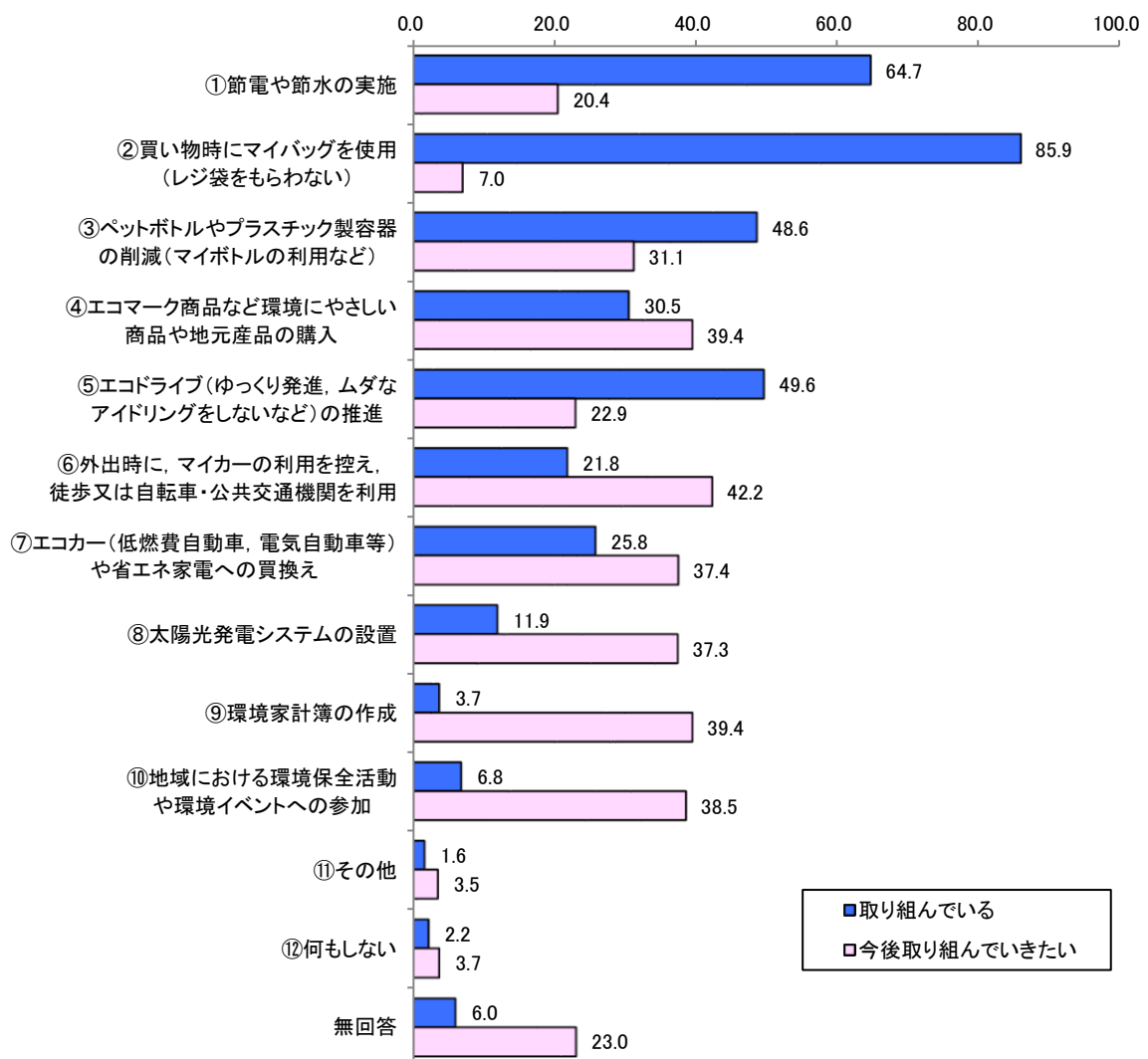
(1) 環境に配慮した行動として取り組んでいること、今後取り組んでいきたいこと

問30 あなたが、環境に配慮した行動として取り組んでいること、今後取り組んでいきたいことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)

**取り組んでいることは
マイバッグ・節電や節水・エコドライブが上位
取り組んでいきたいことは
マイカー利用を控える・環境にやさしい商品購入・環境家計簿が上位**

環境に配慮した行動として取り組んでいることは、「買い物時にマイバッグを使用」と回答した割合が85.9%と最も高く、次いで「節電や節水の実施」(64.7%)、「エコドライブの推進」(49.6%)となっている。

今後取り組んでいきたいことは、「外出時に、マイカーの利用を控え、徒歩又は自転車・公共交通機関を利用」と回答した割合が42.2%と最も高く、次いで「エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元産品の購入」(39.4%)、「環境家計簿の作成」(39.4%)となっている。



(単位: %)

＜属性による比較＞

【生活圏別】

取り組んでいる環境に配慮した行動について、広島地方生活圏は「買い物時にマイバッグを使用」(87.8%)、「ペットボトルやプラスチック製容器の削減」(50.5%)、「外出時に、マイカーの利用を控え、徒歩又は自転車・公共交通機関を利用」(24.7%)が他の生活圏と比べて5ポイント以上高くなっている。備北地方生活圏は「エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元産品の購入」(30.7%)、「エコドライブの推進」(54.1%)、「太陽光発電システムの設置」(18.5%)、「地球における環境保全活動や環境イベントへの参加」(12.2%)が他の生活圏と比べて高くなっている。

今後取り組んでいきたい環境に配慮した行動について、備後地方生活圏は「外出時に、マイカーの利用を控え、徒歩又は自転車・公共交通機関を利用」が46.5%と他の生活圏と比べて5ポイント以上高くなっている。

「地域における環境保全活動や環境イベントへの参加」は広島地方生活圏(38.6%)と備後地方生活圏(38.6%)が高く、備北地方生活圏(33.7%)と比べて4.9ポイント高くなっている。

【性別】

取り組んでいる環境に配慮した行動について、男性は「エコドライブ」(56.3%)が女性(43.7%)と比べて12.6ポイント高い。女性は男性と比べて「買い物時にマイバッグを使用」(92.0%)、「ペットボトルやプラスチック製容器の削減」(56.2%)が10ポイント以上高く、「エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元産品の購入」(34.9%)、「外出時に、マイカーの利用を控え、徒歩又は自転車・公共交通機関を利用」(24.4%)は5ポイント以上高くなっている。

今後取り組んでいきたい環境に配慮した行動について、男性は女性と比べて「外出時に、マイカーの利用を控え、徒歩又は自転車・公共交通機関を利用」(46.3%)、「エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元産品の購入」(43.0%)、「環境家計簿の作成」(42.7%)、「太陽光発電システムの設置」(40.7%)、「ペットボトルやプラスチック製容器の削減」(35.5%)、「買い物時にマイバッグを使用」(11.9%)が6ポイント以上高くなっている。

【年代別】

取り組んでいる環境に配慮した行動について、「節電や節水の実施」は50歳代で72.6%と最も高く、最も低い18・19歳(45.1%)と比べて27.5ポイント高くなっている一方で、「買い物時にマイバッグを使用」は18・19歳で94.3%と他の年代と比べて最も高くなっている。また、「ペットボトルやプラスチック製容器の削減」、「エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元産品の購入」は60歳以上、「エコドライブの推進」は60歳代で他の年代と比べて高くなっている。

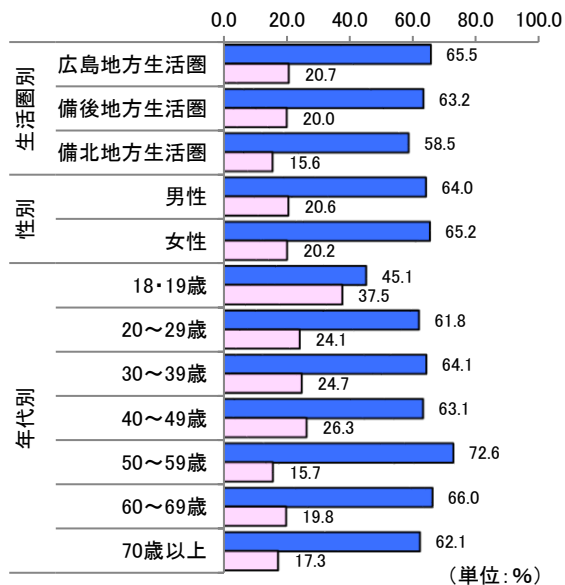
今後取り組んでいきたい環境に配慮した行動について、全体的に20歳代の割合が高い傾向にある。中でも「エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元産品の購入」、「環境家計簿の作成」「地域における環境保全活動や環境イベントへの参加」「ペットボトルやプラスチック製容器の削減」「太陽光発電システムの設置」は他の年代と比べて高くなっている。

環境に配慮した行動として取り組んでいること、今後取り組んでいきたいこと

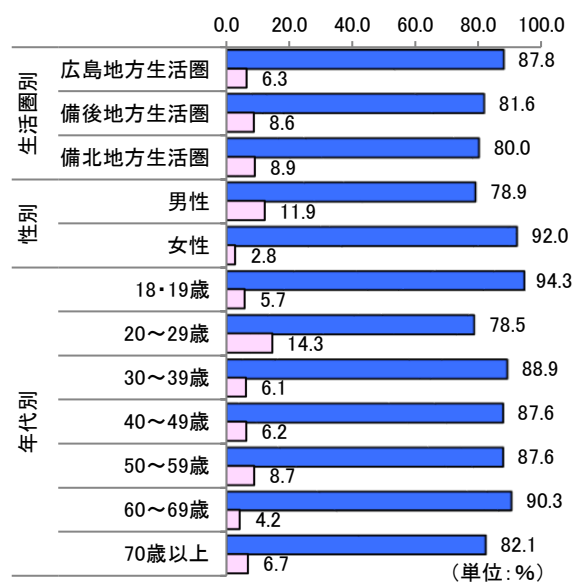
(生活圏、性、年代別)

グラフ上段: 取り組んでいる 下段: 今後取り組んでいきたい

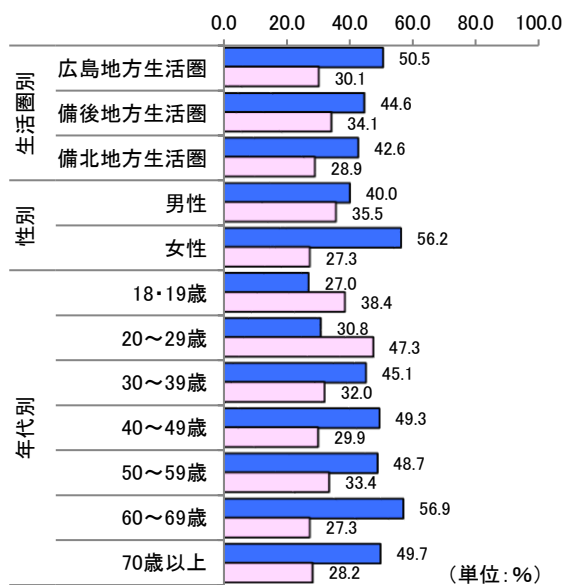
① 節電や節水の実施



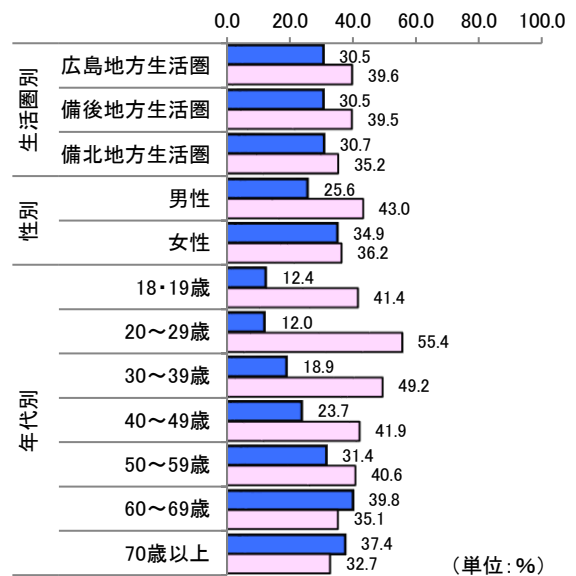
② 買い物時にマイバッグを使用



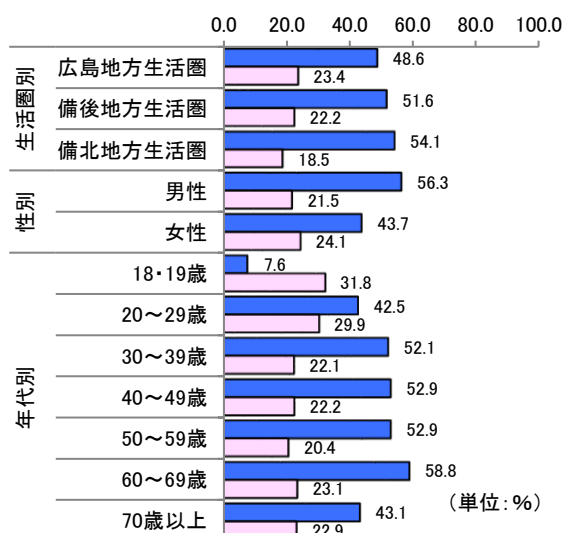
③ ペットボトルやプラスチック製容器の削減



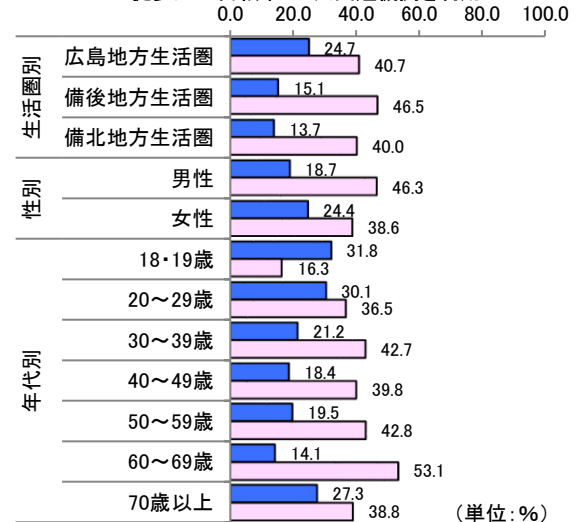
④ エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元産品の購入



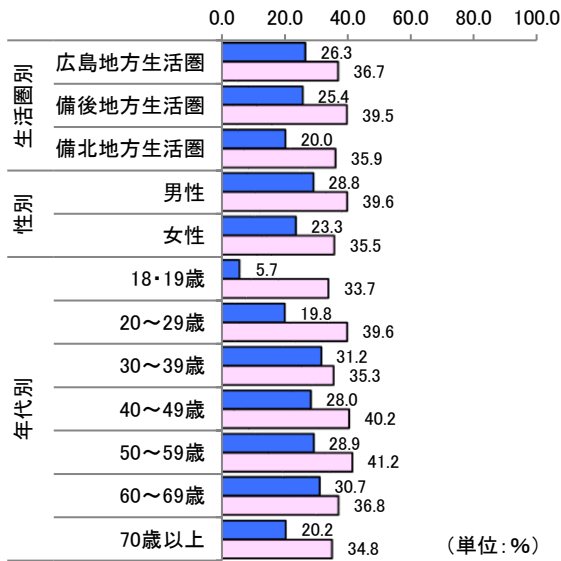
⑤ エコドライブの推進



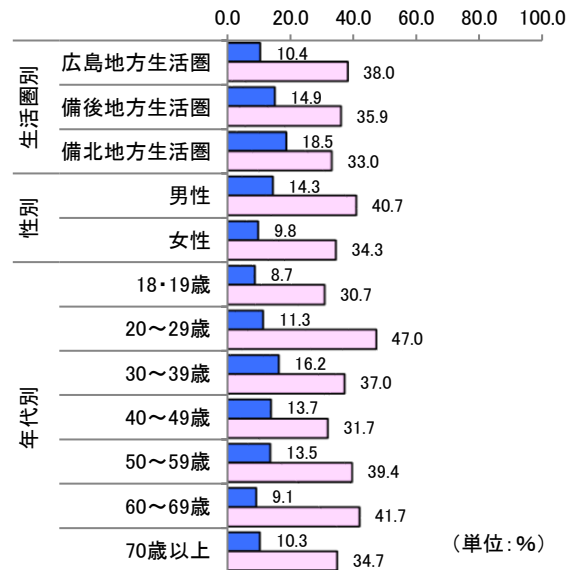
⑥ 外出時に、マイカーの利用を控え、徒歩又は自転車・公共交通機関を利用



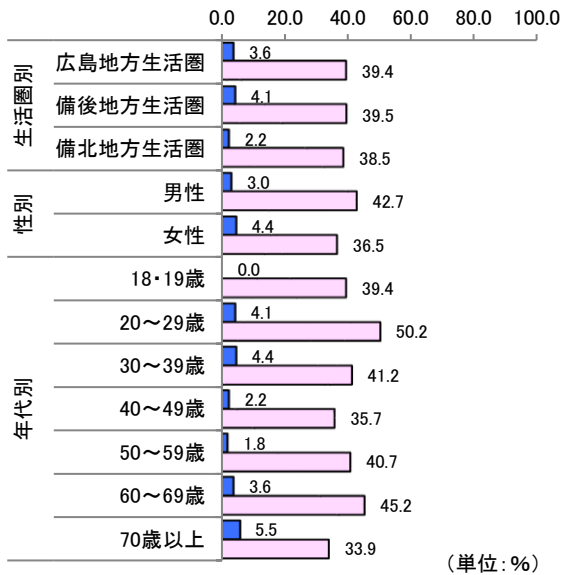
⑦エコカーや省エネ家電への買換え



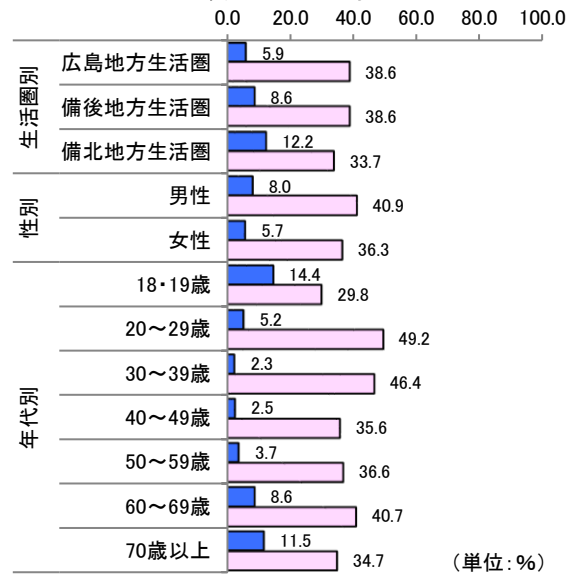
⑧太陽光発電システムの設置



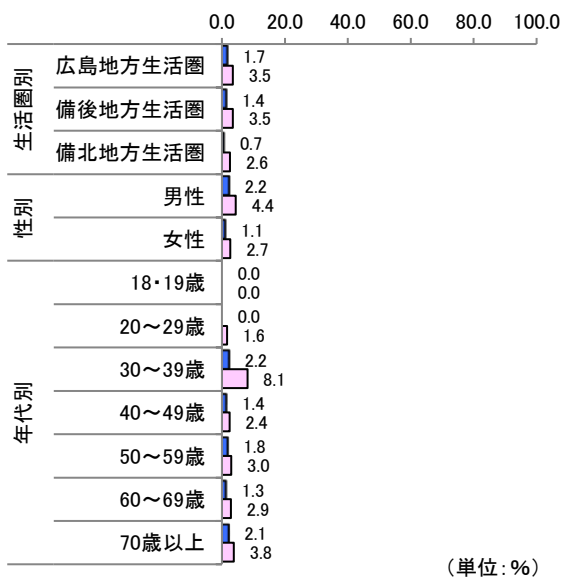
⑨環境家計簿の作成



⑩地域における環境保全活動や環境イベントへの参加



⑪その他



⑫何もしない

